

第2回管内共同学校事務室長研修会

南予教育事務所

R6.3.4(月)

令和6年1月30日(火)13時10分から、南予地方局7階第2会議室にて第2回管内共同学校事務室長研修会を下記の内容で行いました。

研修Ⅰ：共同学校事務室指導訪問の総括について(総務係長より)

研修Ⅱ：愛媛県定期監査報告(該当共同学校事務室長より)

研修Ⅲ：講話「質問力」(次長より)

研修Ⅳ：グループワーク「共同学校事務室運営の現状と課題から」

研修の目的は、共同学校事務室運営リーダーの組織マネジメント能力の向上、並びに効率的かつ円滑な共同学校事務室運営につなげることです。その研修の様子と受講者の声を紹介します。



■ 研修Ⅲ 次長講話(13:45~14:15)

「質問力」

その業務の場面にあった視点、内容、言葉遣いを考えた問い掛けを発することは、よい成果を生み出すことにつながります。また、「良い質問」は質問の受け手である部下やチームメイトの成長にもつながり、職場のよりよいコミュニケーション、そして成果創出にもつながります。共同学校事務室運営リーダーである室長に人材育成の手段の一つになれば、と「質問力」についての話をしました。

- (1) 質問とは？
- (2) どんなふう聞くのが良い質問か
- (3) 仕事の流れを意識して質問する
- (4) 何を質問すべきなのか



【受講者の声】

○室員を育成していく上で大切なのは、日々事務室で起こる出来事にどのように上司が関わり、対応していくか。その時に、室員に最も適切な問い掛けをする力があるかどうかである。室員自身が前進する答えを導き出し、成長や行動変化につながる質の高い質問力を磨いていかなければならないと感じている。

○「質問力」を高め、相手に「考えさせる」ことにつなげるには、日頃のコミュニケーションと担当者に「任せる」こと、業務をやり遂げるまで「待つ」ことも大事であると考えている。つい、自分の仕事をスムーズに進めることを先に考え、相手が迷う前に「教える」ことが多かった。「任せる」ことは、自分にとって、これからの一つの「挑戦」であると捉えている。

○意識的にではないが、質問形式により、業務内容の理解度を図る際や起案の意図や考え方を確認する際に、質問を用いた実践を行っている。今後も、相手の主張について不明確な部分を問い掛けたり、主張に対する根拠が希薄な部分について再考を促したり、重要かつ不足している論点について尋ねることを意識し、質問力を生かした人材育成に努めたい。

■ 研修Ⅳ グループワーク(14:15~16:30)

「共同学校事務室運営の現状と課題から」

今年度の共同学校事務室運営案から現状と課題をピックアップし、5つの班に分かれて、共同学校事務室の運営目標や具体的な取組について、話し合いを行いました。

各グループから話し合った内容について発表していただいた後、八幡浜市共同実施地域の^{大政一恵}事務局長より指導・助言をしていただきました。



【受講者の声】

○各共同学校事務室で行っている具体的な取組計画を参考に意見を出し合った。どうしても抽象的な取組計画になりやすく、具体的内容を考えるのは難しかった。班の協議の中で、「運営案は室員へのメッセージ」という言葉が心に残った。

○大政事務長の「人が育つためには、本人が自ら育ちたいと望むことが大切。限られた時間で効果的な人材育成を行うには、育ちたいという意識を刺激すること。」という講評に感銘を受けた。室員それぞれが向上心を持って刺激し合いながら成長できる組織運営を目指したい。

○「報連相を習慣化する」ではなく、どうすれば習慣化できるか、もう一つ踏み込んだ具体的な取組を考え、全員が成長を感じることができるとともに、共同学校事務室運営を目指してほしいという話があった。それぞれの立場や資質能力に応じた成長ができるように、室員の状況を丁寧に把握しながら、より柔軟な育成方法を考えていきたい。

第2回管内共同学校事務室長研修会のホームページUPが遅くなってしまい、申し訳ありません。今回も、自分自身の今年度の取組を振り返った、いい意見がたくさんありました。是非、次年度の共同学校事務室運営に生かしてもらえたら、と思います。

最後に、地域長さんからの言葉を紹介しておきます。

【地域長の所感等より】

・質問力を高めるための能力(コミュニケーション能力・情報収集能力・問題解決能力等)を鍛えて、質問する側と質問される側の双方が共に成長できることを期待しています。

・まず自分が変わらなければと思えたことを地域長として嬉しく思います。その気持ちを行動に移して「全員成長」を目指していきましょう。



是非、地域長を頼ってください。 by 南予事務長会長